



2024夏 第17回 八千代子どもサミット

～相手への尊重～

8月1日にセントラルスポーツ生涯学習プラザで「2024夏 八千代子どもサミット」が開催されました。平成22年度から続く八千代子どもサミットは、今年で17回目。今回は市内小・中・義務教育学校の代表に地域の人加わり、全体テーマ「相手への尊重」について意見を交わしました。

お問い合わせは
指導課
☎481-0301へ

八千代子どもサミットとは

目的

未来を担う児童生徒が地域の問題や将来などについて考え、地域の一員としての自覚と認識を深めるとともに、市内全ての公立学校が連携して、地域に主体的に参画することを目的として開催しています。



サミットの内容と当日の様子

サミットは3部構成で行われました。

1. 各学校の取組紹介

市内の各学校で校内または地域の人と一緒にやっているSDGsに関連した活動の取り組み事例を発表しました。「アルミ缶が世界をレスキュー」と題したリサイクル活動や「一緒に届けよう。服のチカラ!」と題した衣料支援など、どの学校も児童会や生徒会などを中心に取り組んでいる事例について校内や地域の実態に応じて工夫を凝らして発表しました。



＜参加した児童生徒の声＞

- 自分たちの取り組みを少しでも多くの人に知ってもらい、地域に貢献できる活動をしていきたいです。
- いろいろな取り組みを各学校でやっていて、とても刺激になりました。

子どもたちは他校の取り組みの良さに触れ自校の活動を深めるヒントを得たようです。

2. 地域ディスカッション

新聞記者や看護師、外国人相談員などのさまざまな職業の人や留学生、地域の人を招

待し、子どもたちと一緒に今回のテーマである「相手への尊重」について考えました。



＜参加した児童生徒の声＞

- 日本に来て2年目の留学生が、上手に日本語を話していて驚きました。日本について勉強してくれたのが伝わってきました。
- ディスカッションを通して、視野が広がりました。一人では気付かなかったことを、経験豊富な大人の人から教えてもらうことができて嬉しかったです。

＜参加した地域の方の声＞

- 中学生がディスカッションを積極的にリードしてくれ、小学生も事前に調べたことを一生懸命質問してくれました。こんな子どもたちが育つ八千代市の未来はきっと明るいだろうと思います。また参加したいです。
- 豊かな関わり合いを通して、他者の思いに触れながら、互いを認め合い、生き方に共感する時間となりました。

3. 全体ディスカッション

特別講演「SDGsを通して世界を知ろう」では県ユニセフ協会から講師を招き、国際社会が抱える問題について講演がありました。世界には水道がなく、水汲みをして生活をしている子どもたちがいるとの話を聞いた後、参加者の代表が実際に水がめに水を入れ運ぶ体験をしました。また、自分らしく生きたくて

も生きられない人が世界中にたくさんいることなど、国際社会が抱える問題について学びました。



＜参加した児童生徒の声＞

- SDGsを学ぶのは、世界中の人のためだけでなく、大切な人や自分自身のためでもある気が付きました。

子どもたちが、世界の視点でも課題を見つける貴重な時間でした。講演の後には、さらに「自分たちの地域でできることはないか」を話し合い、次の目標へとつながるきっかけとなりました。

正解のない問題の答えを対話により深めることは、次世代を担う子どもたちにとって必要な力の一つです。これからも、八千代子どもサミットを通じて、ふるさとを愛し、地域と共に生きる、優しい心をもった子どもたちを育てていきます。

【ご協力ありがとうございました】

子どもサミット初の試みとして地域の人にも参加いただきました。(敬称略・順不同)

赤門、大新下支会、介護サービス事業者協議会、柴崎歯科医院、秀明大学、商工会議所、JICA研修員、瀧澤学園、千葉興業銀行、東京動物専門学校、特別養護老人ホームグリーンヒル、グリーンヒルキッズ、nui by moku、はばたき職業センター、防衛省自衛隊千葉地方協力本部、緑が丘ひよこ保育園、睦子どもの国際交流サポーターズ、村上南保育園、八千代警察署、八千代市消防本部、ロス・アンジェルス、看護師、外国人相談員、新聞記者、プロボクサー